

⑥交通

C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

・長野自動車道、国道 19 号、国道 158 号を中心として、交通量の多い幹線道路がある。

平成 27 年度道路交通センサスによる松本市の平日 12 時間交通量をみると、長野自動車道では約 22,000 台から約 30,000 台程度となっている。

一般道では国道 19 号を主流にした南北方向と国道 158 号を主流にした東西方向の交通量が多くなっている。特に松本市の南北軸を形成している国道 19 号平日 12 時間交通量をみると、約 15,000 台から約 18,000 台となっている。中心市街地から長野自動車道へのアクセス道路である国道 158 号の平日 12 時間交通量は、渚 1 丁目付近で約 18,000 台/12h となっている。

この他の平日 12 時間交通量が多い区間では、国道 147 号が約 8,000 台、国道 143 号が 14,000 台、松本環状高家線が 17,000 台、倭北松本停車場線が約 12,000 台、松本塩尻線、松本空港線が 13,000 台の交通量を担っている。

C0603 鉄道・路面電車等の状況

- ・松本駅が鉄道路線の結節点となっている。乗降客数はいずれも減少傾向にある。

松本市には、J R篠ノ井線、J R大糸線およびアルピコ交通上高地線の3線が走り、すべて松本駅で結節している。また、これらの路線の中で市街化区域内には8駅、市街化調整区域に面して2駅があり、いずれも市街化区域内の住宅地から約2kmの圏内に位置している。

このうち、市内最大のターミナル駅であるJ R松本駅の乗降客数は、令和元年の37,281人/日から令和2年には25,130人/日に減少している。他のJ R各駅についても、令和元年から令和2年にかけて、乗降客数はいずれも減少傾向にある。

アルピコ交通の近年の乗降人数をみると、いずれも平成29年から令和元年をピークとして、令和2年には減少傾向にある。

C0603 鉄道・路面電車等の状況

<調書>

(松本市調査(基準日:令和4年3月31日現在))

路線名	駅名	運営会社	運行頻度(平日) 本/日	乗降客数				
				平成27年 人	平成28年 人	平成29年 人	平成30年 人	令和元年 人
篠ノ井線	松本※1	東日本旅客鉄道	138	32,606	32,700	37,177	37,281	25,130
	南松本		2,904	3,168	3,190	3,008	3,008	2,424
	平田		2,724	2,896	3,040	3,076	3,076	2,442
	村井		3,402	3,552	3,552	4,028	4,028	3,482
大糸線	北松本	東日本旅客鉄道	50	1,512	1,476	1,380	1,380	1,218
	島内※2		-	-	-	-	-	-
	島高松※2		-	-	-	-	-	-
	松本		3,678	3,770	3,769	-	-	-
上高地線	西松本	アルピコ交通	50	105	88	88	91	45
	渚		50	147	140	145	151	106
	信濃荒井		50	63	94	82	81	63
	大庭		50	370	372	368	367	266
	下新		50	183	166	155	144	96
	北新・松本大学前		50	1,198	1,169	1,270	1,394	558
	新村		50	287	283	268	263	202
	三溝		50	373	370	388	393	349
	森口		50	568	573	578	568	473
	下島		50	436	408	416	391	288
	波田		50	1,104	1,083	1,079	1,096	922
	湊東		50	52	53	65	50	63
新島々	50	536	552	646	636	624	253	

※1 平成30年以降の乗降客数は、上高地線「松本」を含む

※2 大糸線「島内・島高松」については無人駅のため乗降客数は集計なしとする

資料:国土数値情報「駅別乗降客数データ」

C0604 バスの状況

- バス路線が令和5年度より再編される。

バスの状況として、路線図及びバス停位置図を整理する。

